

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社阿波銀行（証券コード:8388）

【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
債券格付	AA-

格付事由

- 徳島市に本店を置く資金量 2.7 兆円の地方銀行。預貸金（ゆうちょ銀行を除く）の県内シェアは 4~5 割と、地元におけるプレゼンスが高い。関東・関西エリアで営業推進を強化しており、業容は着実に拡大している。格付には強固な事業基盤や比較的高い収益性、良好な資本充実度などを反映している。中小企業融資に特化したビジネスモデルを展開しており、厳しい経営環境が続くなか収益性は業界内における優位性を維持していくとみられる。また、与信費用が低位で推移していることに加え、有価証券の含み益を有効活用することにより、引き続き高い水準の最終利益を安定的に確保していくと JCR はみている。
- ROA（コア業務純益ベース）は、投資信託の解約益を除いても 17/3 期で 0.5% 程度と、引き続き他の有力地銀との比較で良好な水準を維持している。しかし、市場金利の低迷と競合の激化に伴う利ざやの縮小から、コア業務純益（投信解約益を除く）は減少傾向にあり、17/3 期の減少率は前期比 16% と 16/3 期から拡大した。この状況を踏まえ、当行は事業性評価に基づく融資を軸に適正金利の確保に向けた貸出運営を一層推進するとともに、役務収益の増強に向けて、預り資産販売につき営業人員の増強、商品ラインナップの充実などの取り組みを強化している。また、県内の取引基盤の深掘り、店舗運営の効率化などを目的とした営業体制を構築しつつある。こうした一連の取り組みが、基礎的な収益力に対する下押し圧力の緩和につながっていくか注目していく。
- 金融再生法開示債権比率は、17 年 6 月末で 2% 台後半と業界平均よりも高い。比較的风险の高い中小企業融資のウェイトが高いこともあり、与信費用は景気後退局面でやや膨らむ傾向があるものの、近年においては落ち着いた水準が維持されている。貸出ポートフォリオは小口分散が効いており、個社の要因で多額の与信費用が計上されるリスクは抑えられている。有価証券運用では、円建債券への投資を抑制する一方、外貨建債券や投資信託への分散投資を行っている。国内外債券の金利リスク量は減少しており、資本対比でみて抑制されている。株式の含み益が大きく株式残高は資本対比で大きくなっているものの、現下の金利環境においては収益変動のバッファーとして機能しているうえ、安定した配当金収入が収益の下支えとなっている。
- 一般貸倒引当金などを控除した調整後の連結コア資本比率は、17 年 3 月末 11% 台前半と高い。リスクアセットは増加基調にあるものの、引き続き内部留保の着実な蓄積が見込まれることから、良好な資本水準は維持されるとみられる。

（担当）松村 省三・南澤 輝

格付対象

発行体：株式会社阿波銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 6 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2012 年 12 月 21 日	2017 年 12 月 21 日	0.52%	AA-

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年10月25日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：松村 省三
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）「銀行等」（2014年5月8日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社阿波銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル